

ゆい
結



創造喜多方

齋藤仁一の喜多方市議会報告VIII-12

国のオーガニックブレックベリッジに応募を

私は、3月議会定例会（2月24日～3月15日）で「有機農業及び環境保全型農業の推進と学校給食ついて」一般質問をしました。

「みどりの食料システム戦略」対策は
私は「国の『みどりの食料システム戦略』（有機農業100万haを目指す）に対する市の今後の施策展開と数値目標として農林業ビジョンの見直しについて」質問しました。

産業部長は「本市は、県内で最も有機農業が盛んであったが、2011年の福島第一原子力発電所事故に伴い、消費者の買い控えなどが大きく影響し、有機農業取組み面積が現在約59haに減少し、以前の面積まで回復していない。この現状を踏まえ、市として、農畜産物の風評払拭と消費拡大を図るための取組みを継続的に進めていくとともに生産性の高い技術体系の確立や販路開拓等に取組む県などの関係機関・団体と連携し、これまで培ってきた技術やノウハウの普及と更なる生産性向上を図り、有機農業の取組み拡大を促進していく。また、国や県の動向を注視し、新年度に予定している農林業ビジョン中間見直しの中で検討する」と答弁しました。

特別栽培等環境保全型農業推進は
私は「喜多方市は、2020年度福島県環境保全型直接支払交付金の実施状況で、面積877haは県全体面積の約4割交付金額5,248万円も全交付金額の約4割と、取組みでは県内一である。今後の市の推進施策と数値目標をどうするか」質問しました。

産業部長は「今般の総合計画見直しにおいて、目標指標をエコファーマー数から環境保全型農業直接支払取組み面積とし、2026年度までに2020年度実績877haから123ha増の1,000haに拡大する目標とした。目標達成に向け、現在環境穂算型農業直接支払制度に取組んでいないエコファーマーを中心に誘導を進めていく。また、引き続きより多くの農業者が環境保全型農業直接支払交付金の対象となる特別栽培や有機農業の取組みにステップアップできるように関係機関・団体と連携し誘導と支援をしていく」と答弁しました。

オーガニックブレックベリッジ100自治体に
私は「本年1月、国が、オーガニックブレックベリッジ（仮称）創設に向けた構想を明らかにし、2025年までに100市町村を目指すとしている。福島県内の環境保全型農業直接支払制度の実績トップの喜多方市として、この構想にエントリし、実施計画まで新年度取組んでほしいと考えるがどうか」質問しました。



わかめご飯・牛乳・鶏の唐揚げ・コーンおひたし・えのきの味噌汁・デザート」卒業生がリクエストした献立

産業部長は「原発事故前、有機農業の取組み面積100haあったが、販売先がなくなり現状の面積に減少した。有機農業にとつて販売先の構築を整備することは必須である。市として、新年度環境にやさしい農業の実態を踏まえて、十分に検討する」と答弁しました。

いすみ市学校給食に有機米100%
私は「千葉県いすみ市が、2018年に学校給食に100%有機米としているその背景には、価格補償（通常の1.5倍の値段）による農業者所得確保の施策を実施している。本市として、有機食材の導入を積極的に推進できないか」質問しました。

産業部長は「野菜などの食材は、学校給食生産者の会など喜多方市産のものを使用している。生産者の会では、有機質肥料の使用を中心に、化学肥料は慣行栽培の2割以上削減を目指して栽培している。また、防虫対策として使用する農薬は最小限とし、化学農薬は慣行栽培の2割以上の削減を目指し、取組んでいる。今後も、使用する農薬をできる限り少なくし、安全・安心な食材を使用した学校給食の提供に努める」と答弁しました。

地域経済再生、有機農業の視点は
私は「有機農業の取組みによる市内循環の経済システム構築は有効であると考えられるがどうか」質問しました。

市長は「有機農業については、原発事故前県内のトップランナーであったが、その影響を大きく受けた。しかし、トップランナーとしての技術や生産者の方々が対応できる素地はある。また、販売についても消費者とどういった連携ができるか考える必要がある。田園回帰の機運もあるため、市として、足腰の強い農業を推進していく」と答弁しました。

主権者教育こそ選挙の投票率向上対策

「ごまが聞きたい」3月議会一般質問



3月議会一般質問に登壇

投票率向上を目指した啓発活動は

問 市長選挙の投票率は56・59%と前回と比べてわずかに上昇したが、今後選挙における投票率向上のための選挙啓発活動をどう進める考えなのか。

選挙管理委員会委員長

投票率が平均より低い年代層への啓発手法を検討しながら、引き続き主権者としての投票参加について、市広報紙及びホームページへお知らせを掲載して周知を図り、また、新有権者には、選挙入場券と合わせて選挙パンフレットを同封して周知すると共に市内高等学校に選挙啓発物品を配布している。若年層の有権者には、子ども園や小中学校等を通じて、選挙啓発物品を配布し関心が高くなるよう周知を行うと共に、明るい選挙推進協議会委員の協力を得て投票率の向上に努めていく。

主権者教育の充実が必要ではないか

問 主権とは、国を統治する権力のこと、**「国を統治する権力」とは、社会秩序を維持するために法律を定め（立法権）、定められた法律を執行し（行政権）、法に基づいて争いを解決する（司法権）」**といった権力のことである。そして、憲法の三大原理「国民主権」、「基本的人權の尊重」、「平和主義」にあるように、主権が国民にある「国民主権」の国である。国民主権＝国民が統治権を持っている事になるので、主権者＝統治権を持っている人になる。この事柄が、主権者教育として、学校で深める教育を行う必要があるが、市の実態と対応はどうか。

教育長

市では、主権者教育の観点で中学3年生を対象に「子ども議会」が開催されている。子ども議会前に各学校に「あなたの意見はすぐに市政に反映されると思いますか」との質問に、多くの子どもは「反映されない」と答えている。小学校高学年から主権者教育が行われ、小6学年で憲法を学び、中学校で自治のあり方を学ぶが、実態はアンケートの通りであるので、今後は、主権者教育の中で選挙権が18歳からとなったので、意識的に政治参加できるひとり一人であることを教えていく必要があると考えている。

問 今回の市長選挙では、棄権者が17、014人との結果であるが、市長の受け止めと今後の市政運営をどうするのか。

市長

私の投票率も3割超でこの任に着いたと認識している。市政は市民のためにあると考える。オール市民での市政運営を掲げている。若年層の投票率が低いという現実を踏まえ、市政に関心を持ってもらえるよう、また、未来ある喜多方市政の運営をしていく。

市の実態を踏まえ展望を示す計画に

総合計画（基本計画）中間見直しの議案が提出され、私は、次の8項目について（ ）の内容を追加するよう提案しました。

- ・ 農林業「高付加価値につながる6次産業化や（有機農業など）環境のやさしい農業」に
- ・ 森林の有する多面的機能の発揮が求められる「林業経営体（及び林業の担い手）の育成」に
- ・ 施策6「（有機農業及び）環境にやさしい農業の推進」に。
- ・ 施策9「森林の保全及び活用（新たな森林経営手法の研究、普及に努めます）」に。
- ・ 商業「コンビニエンスストアやドラッグストアなど新たな経営形態の増加により（小規模商店及び）商店街の集客力が低下し」に。
- ・ 今後、（小規模商店及び）商店街の活性化を」に。
- ・ 男女共同参画「（ジェンダー）起因する固定的な役割分担意識が根強いこと、結果として、男女の実質的な平等の実現が阻害され、また、女性に占める働く女性の割合が比較的高いにもかかわらず）社会の様々な分野における方針などの立案から決定まで」に。
- ・ 子育て「少子化は緩やか（急激）」に。
- ・ 障がい者支援「法律に基づく（障害福祉サービス事業者との連携による）障害福祉サービスの充実」に。
- ・ その指標に（自立生活支援と共同生活援助利用者）を追加する。



ロシア軍によるウクライナ侵攻の即時撤退を求める緊急街宣活動

あとがき

◆今回のロシアの軍事力によるウクライナへの侵攻は時代錯誤であり、直ちに撤退すべきと強く抗議します。喜多方市非核平和のまち宣言には「いまだに世界各地の戦争は絶えず、悲しみや憎しみが残り（中略）子どもたちの笑顔、夢見る未来、戦争のない永遠の平和と自由をわたしたちは心から願う。戦争と核兵器の恐ろしさを後世に語り継いでいく（中略）『あらゆる戦争をなくすこと』そして「あらゆるものの破滅を招く核兵器をなくすこと」を全世界に呼びかける（後略）」とあります。また、憲法9条には「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」とあります。私も市民・国民の一人としてこれらの精神に則り、あらゆる戦争、いかなる戦争にも反対します。

◆昨年、アメリカ軍がアフガニスタンから全面撤退しました。軍事力によつて問題を解決できなかった証左です。一方、2019年凶弾に倒れた中村哲医師は、アフガニスタンで人道支援として水路の整備、農地の再生に取り組み、結果して65万人の命と生活を支えています。この事に学ぶ必要がります。

結（ゆい）Ⅷ-12

齋藤仁一の喜多方市議会報告

- ・ 発行 2022年春号
- ・ 発行責任者 齋藤 仁一
- ・ 住所（〒969-4105）山都町三津合字河原田 4848
- ・ Tel&Fax 0241 (38) 2788
- ・ Facebook Jinichi.saito.10
- ・ E-mail ご意見・ご要望を rss02574@nifty.com